

# あやべ topics

## 丹の国まつり 催し多彩に



あやべ丹の国まつり（同まつり実行委員会主催）が4月29日、市街地一帯で開催されました。京都府警白バイ隊のデモンストレーション走行、鼓笛隊などによるステージ、各種団体のブース、模擬店の出店のほか、今回は地面を蹴って進む二輪車のレースや世界4カ国の名物料理の提供など初めて企画された催しもあり、各会場は大にぎわい。穏やかな陽気の中、市内外から訪れた約7000人が、春の一大イベントを楽しみました。

## ハンナリーズのホームタウンに

5月3日、プロバスケットボールリーグ（Bリーグ）に所属する「京都ハンナリーズ」のホームタウン（活動拠点）加盟セレモニーが、京都市内で行われました。Bリーグの2025-2026シーズンから、本市を含む府内全26市町村がハンナリーズのホームタウンになります。都道府県内全域のホームタウン化は、Bリーグでは初めて。市は今後チームと連携し、バスケットボールを通じたスポーツ振興や地域活性化などに取り組みます。



## 天文館パオが開館30周年

里町の天文館パオが5月1日、開館30周年を迎えました。これを記念し、ゴールデンウィーク期間中、手品や手作り楽器のショーなど、家族で楽しめるイベントを実施。中学生以下の子どもには、1日50枚限定で、周年記念のステッカーを配布しました。同館は、年間約1万人が訪れる人気の施設。天体観察や工作教室、コンサートなど季節感あふれる催しを行っています。皆さんの来館をお待ちしています。

## 工夫を凝らした花壇を展示

市シルバー人材センター（吉田豊理事長）は4月27～29日の3日間、青野町の由良川花庭園で「あやべ由良川花壇展」を開催。期間中は、ステージ発表や飲食ブースの出店などもあり、多数の来場者でにぎわいました。

恒例の花壇コンクールには、5部門に自治会や学校、団体などが計67点を応募。工夫を凝らして植栽された花壇から、10団体を表彰しました。花壇は6月中旬まで展示される予定です。



## 春の味覚を満喫

於与岐山菜まつり（同まつり実行委員会主催）が5月3日、弥仙会館前広場（於与岐町）で開催されました。会場では、地元で採れた山菜を使った弁当や天ぷらを販売。八田中学校OBによるブラスバンド演奏やバルーンアートなどの多彩な催しも行われました。また今年から、八田中学校生徒が実行委員会に参加。準備や当日の運営に携わり、まつりを盛り上げました。



## 西八田小と香港の児童が交流

西八田小学校（岡安町）で4月28日、同校の児童74人と香港の小学生24人との交流体験が行われました。児童たちは、英語で自己紹介をしたり、折り紙を使ったペーパークラフトやけん玉などをしたりしながら、日頃の英語学習の成果を存分に発揮していました。6年生の山田草君は「香港の小学生の英語力の高さに驚いた。自分たちももっと勉強しなければならないと感じた」と意欲を燃やしていました。



# 綾部で暮らす

市は「移住立国あやべ」を掲げ、さまざまな移住・定住促進の施策を展開しています。昨年度は、市の定住サポート総合窓口を通じて、27世帯51人が移住しました。今回の情報すくらんぶるは、市の取り組みや移住者の声を紹介します。



綾部の田園風景を魅力に感じ、移住する人が多くいます

## 移住者視点の情報を発信

本市では、移住・定住をワンストップで支援するため、平成20年度に同窓口を設置。空き家紹介だけでなく、就職・就農相談や地元住民との顔合わせに職員が同行するなどきめ細かな対応に努め、円



令和2年に開設した「あやべ定住サポート京都サテライト店」(京都市中京区)。毎年、出張相談や田舎暮らしを知ってもらうセミナーを開催しています

## 移住者interview



### ホッとする 古里のような場所

齋藤潤子さん(梅迫町)

昨年12月に長野県から移住しました。移住先を探していたとき、友人に誘われて綾部市を訪問。思いがけず出会った先輩移住者から「ここは住みやすい」などの声を聞いたことが、綾部への移住を考えるきっかけになりました。その後、市の窓口で物件を紹介してもらい、昭和レトロな雰囲気に一目ぼれ。周囲の日本昔話のような風景も印象に残りました。他の候補地と悩んだ末、担当者の親身な対応もあり移住を決意。地域の人々が温かく、季節の野菜をいただくなど常に気にかけてくださり、ホッとする古里のような場所だと感じています。



京阪神や関東圏に住む人で、移住に関心がある人をターゲットに広告を掲示しています

滑な定住につながっています。

こうした取り組みに加え、「移住立国あやべ」のホームページの充実にも注力。ボランティア組織「ここらへんのことつたえ隊」と連携し、移住者視点の情報を発信しています。また昨年からは、SNSに同ホームページへ誘導する広

## 空き家の掘り起こしを進める

告を掲示し上図。移住に関心を持つ人たちに、綾部の暮らしの魅力を効果的にPRしています。

移住の促進には、空き家の流動化が鍵を握ります。市は、空き家相談会を毎月開催。令和4年に実施した空き家調査の結果を基に、空き家バンクへの登録を促す取り組みも進めています。空き家は、移住者受け入れの資源です。活用にご協力ください。空き家バンクに関する相談・問い合わせは、定住・地域政策課 ☎(42)4270へ。

